

2016年6月13日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL16-33

「うつ病」への理解促進を目指し、啓発動画を公開

～あなたにも知ってほしい。「こころ」にも、「からだ」にも重くのしかかるうつ病のこと～

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下、日本イーライリリー)は、うつ病による多様な症状に対する正しい理解を促し、当事者が適切な治療と、周囲からの適切なサポートを受けられるようになることを願い、うつ病患者さんが症状を感じてから回復に向かうまでの道のりを当事者の視点から描いた動画『うつ病を経験したわたしから大切なメッセージ』を制作しました。この動画は、本日6月13日(月)よりウェブサイト『うつ病 こころとからだ』(<http://utsu.ne.jp>)で公開しています。



動画より抜粋

©日本イーライリリー株式会社



動画より抜粋

うつ病は、脳の働きに何らかの障害が起こることによって発症すると考えられています。うつ病を客観的に血液検査や脳画像などで診断することは難しく、症状の程度、質、継続期間、生活への支障の度合いなどから医師によって総合的に判断されます。日本におけるうつ病の生涯有病率は6.2%、12カ月有病率が2.1%^{*1}といわれており、うつ病や自殺による日本の経済損失額は、年間で約2.7兆円^{*2}に上るといいう推計結果も公表されています。

うつ病は心の症状だけでなく、「体がだるい、つかれやすい」「体のあちこちが重く感じる」「食事が味気ない」「寝ようとしてもなかなか寝付けない」といった体の症状が現れる場合もあります。症状の現れ方は人によりさまざまで、うつ病に特有の症状ばかりではないため、周囲の人々だけでなく本人もそれらがうつ病によるものと気づきにくいことがあります。

動画『うつ病を経験したわたしから大切なメッセージ』は、ある女性を主人公に、うつ病の症状を感じてから回復に向かうまでの道のりを当事者の視点から描いた、約4分間のショートムービーです。複数のうつ病患者さんへの取材等を元に、当事者の視点で実写とアニメーションにより構成しています。

動画の制作にあたっては、第12回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)を受賞したNPO法人「ぶるすあるは」にアニメーションの原画制作で、また、ご家族がうつ病にかかった経験をもつフリーアナウンサーの町亞聖(まち あせい)さんには、ナレーションでご協力いただきました。さらに医学的な観点からの監修を一般社団法人日本うつ病センター 理事長 樋口 輝彦先生に、また当事者を支援する立場から、認定特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボにも制作協力・監修をいただいています。

日本イーライリリーは、本動画を通じてうつ病についての正しい理解を促進するとともに、当事者が適切なサポートを受けられる社会の実現を願い、今後も活動を続けてまいります。

*1 川上憲人:平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)「こころの健康についての疫学調査に関する研究分担研究報告書」(2006)

*2 厚生労働省:「自殺・うつ対策の経済的便益(自殺やうつによる社会的損失)」(2010)

■樋口 輝彦(ひぐち てるひこ) 先生(一般社団法人日本うつ病センター 理事長) コメント

「うつ病は、気分が落ち込む、やる気がおきない、食欲がない、眠れない以外にも様々な症状が現れます。ご本人は、それらの症状がうつ病によるものと気づかなかつたり、うまく医師に伝えられなかつたりすることがよくあります。この動画で描かれる「こころ」や「からだ」に重くのしかかるうつ病のつらさを、周囲に理解してもらえないことが、患者さんの回復の妨げになる場合もあります。この動画が、うつ病の正しい理解につながり、今、誰にも相談できずに苦しんでいる方へ手をさしのべるきっかけとなることを期待しています。」

■認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ コメント

「うつ病は、『こころ』にも、『からだ』にも重くのしかかる、当事者にとって本当につらく、苦しいもの。患者さんに少しでも寄り添う気持ちを持っていただけたら、こんなに嬉しいことはありません。この映像が、あたたかい気持ちの連鎖のきっかけになることを、切に願っています。」

■町 亜聖(まち あせい)さん(フリーアナウンサー) コメント

「無理をせずできることを増やし、上手にうつ病と付き合っていくこと。病気との向き合い方に関するメッセージがとても伝わる動画だと思います。うつ病を身近に経験した家族のひとりとして、そして、伝え手のひとりとして、うつ病の方が語れる社会を作るために皆さんと一緒に心を込めて仕事をしていきたいと思っています。」

■ムービー概要

タイトル: 『うつ病を経験したわたしから大切なメッセージ』

URL: <http://utsu.ne.jp>

再生時間: 約4分

内容: うつ病患者さんが症状を感じてから回復に向かうまでの道のりを当事者の視点から描いた実写とアニメーション

問い合わせ先: 本動画に関するお問い合わせは、0120-245-970

(Lilly Answers: 日本イーライリリー株式会社 お問い合わせ窓口)までお願いいたします。

<精神障害者自立支援活動賞(通称: リリー賞)>

主催: 認定 NPO 法人「地域精神福祉機構・コンボ」/協賛: 日本イーライリリー株式会社

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。この表彰を通じて、精神障害者の社会参加・自立を支援する独自性のある優れた活動を社会へ広く紹介し、統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深める一助となることを目的としています。

NPO 法人「ぷるすあるは」について

「ぷるすあるは」は、オリジナル絵本など心理教育ツールの制作・普及を目指して 2012 年に設立した「プルスアルハ」を発展させる形で、2015 年 6 月に設立した NPO 法人です。精神障害やこころの不調、発達障害を抱えた家庭や、さまざまな事情の中で、頑張っている子どもたちを、絵本やウェブサイトなど、情報コンテンツの提供を通じて支援しています。 <https://pulusualuha.or.jp>

認定 NPO 法人「地域精神保健福祉機構・コンボ」について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、2007 年 2 月に設立された NPO 法人です。「当事者の視点」を活動の重点に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。 <https://www.comhbo.net/>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>